
仲良し/砂三兄弟

深海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

仲良し／砂三兄弟

【ZPDF】

Z6602A

【作者名】

深海

【あらすじ】

砂三兄弟であるテマツ、カンクロウ、我愛羅の日常？

砂の三兄弟であるテマリ、カシクロウ、我愛羅ははつても仲良し。

早朝の三兄弟の部屋、ベッドを並べてカシクロウと我愛羅が気持ち良さそうに寝ている。もう一つのベッドはテマリの物で、すでに起きた後だ。

テマリは一人先に起きて皆の朝食の用意をしている。

「よし！ 一人起こすか！」

朝食を作り終え、テーブルに全て並べたテマリはなぜか扇子を手に寝室へと向かった。

ドアを開けて肺いっぱい空気を吸い込む。

「起きるー！」

大きな怒鳴り声と共に扇子を振り突風を起こす。強風にあおられ、一人はベッドから転がり落ちた。

「痛たたた……もつもつと優しく起きてくれっていつも言つて
るじやん

「ちよつと声をかければいいものを……

カンクロウは頭をぶつけたようで、手で擦りながら起き上がる。我
愛羅は深い眠りを取れないため寝起きが悪く、低いトーンでボソリ
と呟くとテマリの横をすり抜け、寝室を出て行つた。

「全く……優しく起いても田を覚めなのは誰だよ これが一
番てつとり早いんだ まう、カンクロウも早くおいでよ

テマリがテーブルについた時、我愛羅は既に食事を始めていた。

「我愛羅、いただきますは言つたのか？」

「……いただきます

テマリに言われるとなしく手を合わせる我愛羅。それを見たテマリが優しく微笑み食事を始めると、カンクロウが最後にテーブルについた。

「あれ……なんか変じゃん」

本日の食事は白いご飯、豆腐の味噌汁、焼き鮭。だが、カンクロウの前にだけ空の皿が置かれていた。

「我愛羅——！ また俺のおかず盗つただろー！」

カンクロウはいつも側に置いている鳥を操り、我愛羅に飛びからせた。もちろん砂の壁に阻まれ、我愛羅にはあたらない。

「俺が盗つたとこつ証拠がビリはある……」

「その皿に乗つてゐる皮が証拠じゃん！ 返せつ、俺の鮭！」

「止めるつゝ言つてゐるだつて。」

我愛羅の皿に鳥の手が伸びるが、砂がそれを弾く。テマリの叫びは二人とも聞こうとしない。

「触るな 僕の鮭だ」

「我愛羅は俺の食つたんだから、その鮭は俺のじやん！」

「これは紛れもなく俺の鮭 お前の鮭は消滅した……おとなしく猫まんまでも食うんだな」

「へやーー 少しは兄貴の言つこと聞けよー！」

何度鳥の手が伸びても砂が鮭を守る。せつかくテマリが作った食事に、パラパラと砂がおちる。

すっと静かに席を立つたテマリが扇子を持ち大きく振り被る。一人がそれに気付き、喧嘩を止めても時既に遅し。

「止めるつゝ言つてゐるだつて。」

テマリが扇子を振り、巻き起しつた風に吹き飛ばされ、壁に叩きつけられるカンクロウと我愛羅。我愛羅は砂のお陰でダメージはないが、カンクロウは氣を失つている。

だが、風に吹き飛ばされたのは一人だけではなく、テーブルの上は綺麗に何もなくなつていた。

「あ……い、いってきまーす！」

それに気付いたテマリは、そそぐわざと家を出でていく。

「俺も いつてきまー」

それに続く我愛羅。

カンクロウが田を覚ますと、そこには見事に散らばった朝食。カンクロウはそれを涙田で片付けるのだった。

砂の三兄弟であるテマリ、カンクロウ、我愛羅はとても仲良し……多分。

fin...

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6602a/>

仲良し/砂三兄弟

2010年10月12日09時02分発行